

Ｊシステム 技術講習会 I 開催のご案内

拝啓 皆様におかれましては時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、赤外線画像診断研究協会では、信頼性の高い赤外線調査技術「Ｊシステム」を用いた橋梁点検の普及拡大と調査技術者の養成を行なうことで、安全安心な社会の実現を目指しています。

Ｊシステムは、国土交通省の「橋梁における第三者被害予防措置要領(案)」平成 28 年 12 月改訂に合わせて、コンクリートのうき・剥離の打音検査をスクリーニングできる非破壊検査として認定を受け、平成 29・30 年度の橋梁点検で試行されました。また、平成 31 年 2 月には国土交通省の「道路橋定期点検要領」が改訂され、状態の把握に近接目視と同等の健全性を診断できる方法が使用できることになり、新たに点検支援技術を活用するための「新技術利用のガイドライン(案)」と「点検支援技術 性能カタログ(案)」が制定されました。Ｊシステムも非破壊検査技術としてカタログに掲載されており、定期点検での活用が期待されています。

国土交通省の橋梁定期点検でのＪシステム利用実績は、令和元年度が 17 業務 30 橋、令和 2 年度が 23 業務 82 橋でした。

Ｊシステム技術者養成講座である「技術講習会 I」(有料)は、令和元年度から毎年開催しています。元年度は全国 5 都市で集合型講習として開催しました。令和 2 年度は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、Web 講習会として開催しました。令和 3 年度も新型コロナウイルスの感染拡大が継続しているため、Web 講習会として開催することと致しました。

ご多忙中とは存じますが、多数の方々をご参加下さいますようご案内申し上げます。

敬具

令和 3 年 4 月 22 日

一般社団法人 赤外線画像診断研究協会

代表理事 古川 清司

2021年4月吉日

Jシステム WEB 講習会のご案内

「技術講習会 I」

拝啓 皆様におかれましては時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、令和2年度に引き続き、令和3年度もWEB形式で「技術講習会 I」を開催いたします。つきましては、WEB講習会の申込～受講修了までの流れや、講習概要をご案内いたします。ご多忙中とは存じますが、皆様のご参加をお待ちしております。

敬具

【資料】

- 資料① 受講についてのご案内
- 資料② WEB講習会受講の流れ
- 資料③ WEB講習会受講内容

※例年、同時開催をしていた「Jシステム説明会（無料）」につきましては当協会ホームページにて動画公開していますので併せてご覧ください。（内容は資料③をご確認ください）

お問合せ先

一般社団法人赤外線画像診断研究協会 事務局

TEL : 087-834-2416

MAIL : info01@itd-forum.or.jp

HP : <https://www.itd-forum.or.jp/index.html>

WEB 講習会 受講についてのご案内

■ WEB 講習会名

「技術講習会 I」(有料 : 8,000 円 税込)

■ 受講可能期間 :

2021 年 6 月 1 日 (火) 10 時 ~ 2021 年 7 月 31 日 (土)

■ 申込方法 :

一般社団法人赤外線画像診断研究協会ホームページ申込フォームより申込み。

<https://www.itd-forum.or.jp/index.html>

■ ログイン方法 :

ID・パスワード通知時にお知らせいたします。(5 月中旬以降 随時発行予定)

その他留意点

- ・受講可能期間内であれば、何度でもご視聴が可能です。
- ・ご視聴がうまくいかない場合は、時間をおいて再度お試しください。

(技術講習会 I をお申込みの皆様)

■ 請求書について

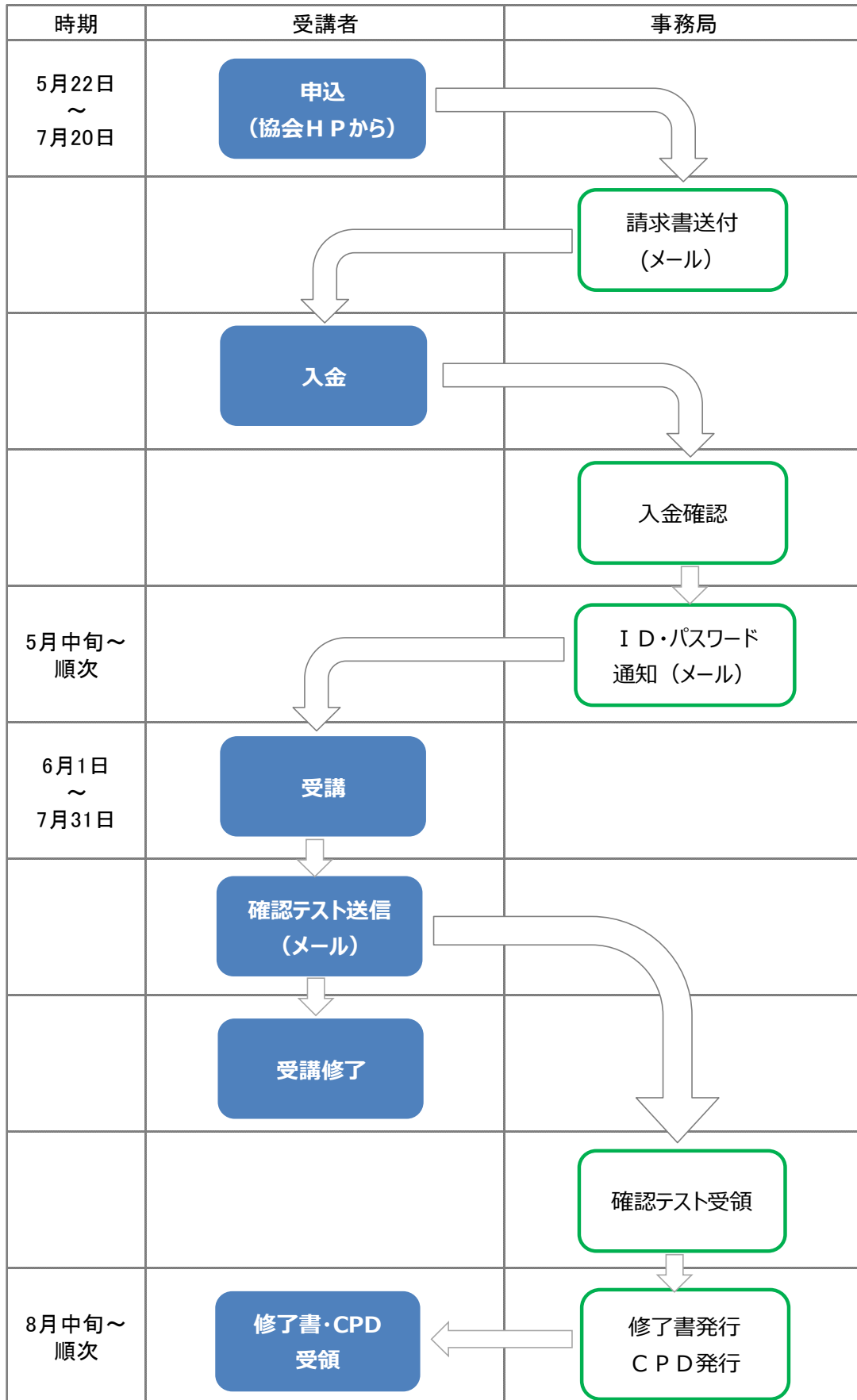
お申し込み後、請求書を事務局よりメールでお送りします。請求書は会社単位で 1 通作成します(受講者様名を記載)。

■ 受講修了について(修了書・CPD 発行)

WEB 講習受講後、確認テスト(エクセル形式)をメールで送信していただき、事務局にて確認後、「修了書」および「CPD」を発行します。発行はメールにて PDF をお送りします。(発行予定 8 月中旬頃)

■ 受講後の「修了書」は、お申込み者様のお名前で作成します。受講者様に変更になる場合は事務局までご連絡ください。

■ お申込み前に、請求書の送付先をご確認いただき、申込時にご入力ください。



講習会名	項目 1	項目 2	目安時間
Jシステム技術者講習会 I	1 赤外線調査の概要	1 赤外線・伝熱の基礎	150分
		2 赤外線調査のメリット	
	2 Jシステムによる赤外線調査	1 Jシステムの特徴	
		2 赤外線カメラ性能	
		3 調査環境	
		4 現地調査	
		5 調査報告書作成	
	3 Jシステムによる画像診断	1 熱画像診断の留意点	
		2 損傷判定事例（基本編）	
		3 損傷判定事例（応用編）	
	4 Jシステム活用事例の紹介	1 クラウドサーバを用いた自動診断サービス	
		2 調査予報システム	
		3 蓄積データを用いた劣化度分析	
		4 空港滑走路のプリスタリング調査	
		5 海外での採用事例	

(参考) 一般社団法人赤外線画像診断研究協会ホームページ上で公開中「Jシステム説明会」の内容

講習会名	項目 1	項目 2	目安時間
Jシステム説明会	1 国土交通省の道路橋点検への適用動向	1 国土交通省の道路橋点検への適用動向	60分
	2 赤外線調査のメリット	1 赤外線調査の概要	
		2 Jシステムの特徴	
		3 Jシステムの導入メリット	
	3 Jシステム活用事例の紹介 ※講習会 I の 4 と同じ内容	1 クラウドサーバを用いた自動診断サービス	
		2 調査予報システム	
		3 蓄積データを用いた劣化度分析	
		4 空港滑走路のプリスタリング調査	
5 海外での採用事例			